【第五十一号　二〇〇九年　三月　五日発行】

# 福音の園だより

平成十八年度「高年齢者雇用優良事業所　協会会長賞」受賞
TBSラジオ「メイコのいきいきモーニング」取材紹介施設

グループホーム・デイサービス介護保険事業者指定
３５０－００１６ 埼玉県川越市木野目一八七八番地一
特定非営利活動法人 **福音の園・埼玉 事 務 局**
☎０４９－２３０－１１１１(FAX２３０－１１１２)

## 講演先・研修会主催者の声

### 「認知症をどうケアするか」講師の御礼

本日は、ご多忙のところ私どもに表題のご講演をして頂き誠に有難うございました。杉澤様の、明解なお言葉で、理路整然としたお話であり、また実務に即した具体的で分かり易い講義は、研修生一同感銘を受けた次第です。準備周到でかつ温かい人柄を感じさせるお話振りは、正に福祉に携わる人と感じました。杉澤様にお願いできて、本当によかったと思っています。

当センターは、二〇〇七年八月に設立したばかりで、未だ体勢作りに力を注いでいる段階であり、世間一般にもあまり知られておりませんが、地域活動を推進しており、少しづつ足場を固めながら実績作りをやっていきたいと思っています。

これを機会に、成年後見業務で相互の連携を深め、協力支援関係を作れればと思っています。今後とも、ご支援、ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

二〇〇八年　八月二六日

ＮＰＯ法人 埼玉成年後見支援センター
代表理事　藤原 欽彌（行政書士）

## 研修会・講演主旨紹介

### 「認知症をどうケアするか―グループホームの実践」

グループホーム **福音の園・川越** ホーム長 杉澤 卓巳

昨年八月二六日、ＮＰＯ法人 埼玉成年後見支援センター様から依頼されて行なった「第十八回 研修会」(於・さいたま市)の講演主旨を紹介いたします。

※※※※※※※※

**Ⅰ．グループホームの現状**

・認知症ケア―「収容型」から「生活リハビリ型」に
・グループホームの起源―グループホーム「生みの親」
・グループホームの生活―「集団サービス」からの脱却

**Ⅱ．グループホームの課題**―「業務＝ケア」ではない

一、小規模ケアゆえの課題―「家庭的密室」
二、理想的なケアから程遠い現実の課題―「重度化」
三、要介護度が上がると退居させるホームもある課題

**Ⅲ．グループホーム「福音の園・川越」の実践**

一、「福音の園・川越」の歩み
二、「福音の園・川越」の特色

・キリスト教精神で運営されるグループホームである
・バランスのとれた介護スタッフ年齢構成のＧＨである
・地域の人的資源を活用し多彩な「生きがい活動」実践
・福音(聖書)に基づいた認知症ケアを実践しているＧＨ

**結び**―私が親にしたとおりに、子が私にしてくれる(大切にしたら大切に、粗末にしたら粗末にされる)。

「成年後見制度に対する理解と関心」とは、私が「老親のため」に成年後見制度を利用し、その恩恵に浴することで、やがてその様子を観ていた子が、同じようにして「私のため」に成年後見制度を利用してくれるようになるに違いないと望み観ることである。

## ご家族の声

### 穏やかな生活ができるようになり感謝

母は父と一緒に福島のケアハウスに暮らしておりましたが、父が亡くなると認知症が目立ち、薬の管理もできなくなりましたので、妹の住んでいる川越のグループホームに入れていただきました。福島の時は、健常者の中での生活でしたので、とても緊張して暮らしているのか、疲れているみたいでした。そのためか、父がお世話になった医院に一カ月に四、五日は入院しておりました。福音の園に入れていただいてからは、福島のようなことはなく、穏やかな生活ができるようになりましたことを感謝しております。　（Ｔ・Ｙ）

## 「ひな祭り」行事報告

### 初めての調理ボランティアを迎えて

事の始まりは、昨年十一月の「手打ちそば昼食会」。元中学校長Ｋさんを訪ねて来園下さった教え子さん達。入居者家族『百丈』店主ご一家が毎年「手打ちそば」を振る舞って下さるのをご覧になり、自分たちも何かお手伝いしたいと申し出られたのが発端。三月三日「ひな祭り」行事昼食会に恩師を慕う教え子さん達が集い、美味しい「ちらし寿司・お吸い物・デザート・他」を調理下さいました。地域密着型ホームだからこそ実現した「トピック」ですとお知らせしつつ、後日 本紙に「お声」を寄せていただく予定です。（ホーム長）

## 御礼

**フラダンスの会**　マイレフラ一本木様（川越市）
**行事食 調理**　Ｋ恩師教え子グループ様（川越市）

## お知らせ

**「認知症をどうケアするか―グループホームの実践」**

研修会資料をご希望の方にお頒けいたします。
ホーム長・杉澤まで、お申し出下さい。